

「人生100年時代」 高齢者から若者まで誰もが幸せを実感できる 住みたいまち菊川市！！



作業改善10力条

- 一. できない説明より やる方法を考えよう
- 一. 心配を先取りするな
- 一. 事実に基づく議論をしよう 想像でものを言うな
- 一. 困らなければ知恵は出ない
- 一. パーフェクトを狙うな 60点でよい とにかく進めよう
- 一. すぐやってみる 文句はそれからにしよう
- 一. カネを使うな 知恵を出せ 知恵がなければ汗を出せ
- 一. 儲けなき動きから 儲けを生む動きに転換しよう
- 一. 改善は無限である
- 一. (最後の一つは自分で考えよう)



【令和6年度 市政懇談会資料】



行政は最大のサービス業

3 change
hance
challenge

キーワードは 3つの C

チェンジ!

サービス業並みのおもてなしにチェンジ

チャンス!

地方への関心の高まりをチャンスと捉え

チャレンジ!

失敗を恐れずチャレンジしていく



人口減少への転換

■日本の人口は、今後45年で3割減少(2070年推計人口8700万人)

⇒2024年8月の日本の人口は1億2385万人(前年同月比▲59万人)

■静岡県の人口は、2007年12月の379万8千人をピークに減少

⇒2024年8月の静岡県の人口は352万8千人(ピークより27万人減少)

■菊川市の人口は、2020年から4年で約1,000人減少

⇒2020年国勢調査では前回調査から1,026人増⇒県内で人口増加は4市町のみ！

■2023年の全国の出生数は約73万人(約10年前と比べ▲27万人)

■2023年度、菊川市の出生数は295人(初めて300人を下回った)

⇒2023年度の死亡数と出生数の差による「自然増減」は250人の自然減

人口減少対策「緩和」と「適応」

人口減少を抑える

緩和策

人口減少の急激な進行を
可能な限り抑える

移住・定住の促進

出生率の向上

- 情報発信強化による認知度の向上
- 多くの人を呼び込む取組の推進
- 菊川に関わる人・企業の増加
- 結婚・妊娠に係る経済的負担軽減
- 切れ目ない子育て支援

全ての人が生き生き活躍

適応策

人口が減っても
持続可能なまちづくり

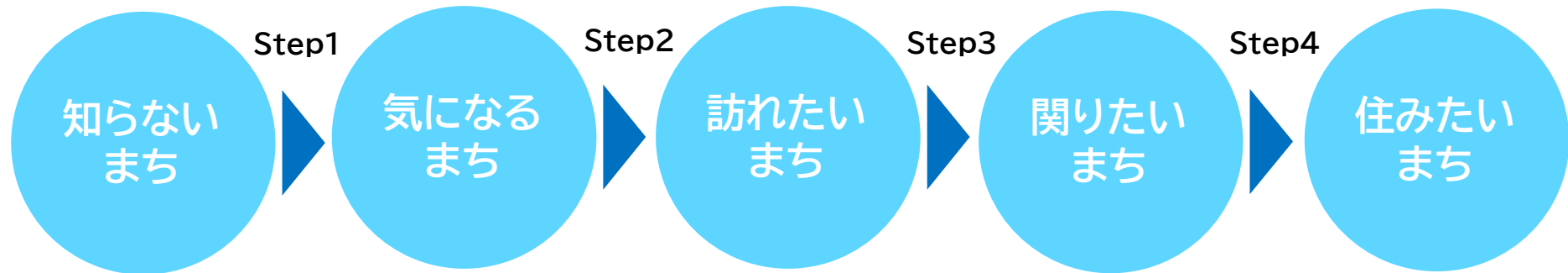
健康寿命の延伸

多様な人材の活躍

- 市民、地域と一体となった健康増進、介護予防の取組推進
- 若者が活躍できるまちづくり
- 多文化共生の推進
- スタートアップ支援、誘致

人口減少を緩和するため

出生数の減少を緩和し、移住者の増加を促すことで人口減少の緩和を図るため、本市の魅力を市内外に継続的に発信し、多くの人を呼び込む取組を進めます。



Step1

Discovery (発見)

菊川を**知ってもらおう** 機会の増加

▶ 認知度の向上

Step2

Exchange (交流)

菊川に**来てもらおう** 機会の増加

▶ 交流人口の増加

Step3

Engage (関係)

菊川と**関わってもらおう** 機会の増加

▶ 関係人口の増加

Step4

Settlement (定住)

菊川に**住んでもらおう** 魅力の増加

▶ 定住人口の増加

菊川市のチャンス！ 地方への関心の高まり

Chance

移住者が重視することは、便利さ、快適さ、心の余裕！

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
Top1 地域での日常的な買い物などで不便がない	37.4%	51.3%	45.1%	37.3%	33.3%	34.0%
Top2 都市部へのアクセスがいい（通勤・通学・行楽など）	34.9%	46.3%	42.9%	34.7%	31.2%	31.9%
Top3 自然が豊かで身近に感じられる	31.8%	28.2%	35.3%	31.3%	29.9%	31.4%
Top4 十分な広さや間取り、日照など快適な家に住める	29.4%	42.5%	34.3%	30.5%	25.1%	27.7%
Top5 街並みの雰囲気が自分の好みに合っている	29.3%	38.8%	36.6%	29.7%	25.1%	27.1%
Top6 穏やかな暮らしを実現することが出来る	29.2%	44.1%	37.6%	29.5%	24.7%	24.5%
Top7 やりたい仕事ができる	28.3%	37.7%	34.3%	28.6%	24.7%	26.8%
Top8 地域に同世代の人が多い	28.3%	28.3%	28.3%	28.3%	28.3%	28.3%
Top9 地産の美味しい食べ物・飲み物が多くある	26.2%	36.6%	38.7%	27.0%	22.2%	22.8%
Top10 地域の医療体制が整っている	25.0%	31.6%	28.1%	24.1%	22.5%	26.6%

【出典】地方移住に関する実態調査(株式会社パーソナル総合研究所)】

菊川市のポテンシャル！暮らしにいいこといっぱい！

＼ココが**イイ**！／

**コンパクトなまちに
暮らしの便利がギュ**

スーパーやドラッグストアなど商業施設が市内各所に。

＼ココが**イイ**！／

**どこへでも
アクセス良好のまち**

静岡市と浜松市のほぼ中間に位置し、通勤・通学に便利。

＼ココが**イイ**！／

**緑に包まれた
自然豊かなまち**

森の緑、茶畑の緑。菊川は緑に包まれたお茶処。

＼ココが**イイ**！／

**温暖な気候で
雪が降らない**

平均気温約16℃。温暖な気候に恵まれ冬でも雪が降らない

＼ココが**イイ**！／

**アウトドアスポーツを
1年中楽しめる！**

ゴルフやバイク、サイクリング、サーフィンを楽しめる。

＼ココが**イイ**！／

**ほどよい街
ほどよい田舎！**

仕事と遊びのON/OFFを切り替え、充実した暮らしを実現

第**1**位

.....
2014「全国主婦の幸せ度調査」
主婦が安心して
暮らせる街
東海4県で第1位！

第**3**位

.....
「街の幸福度ランキング
2023」
静岡県内第3位！

【発表：学研パブリッシング「aene(アイネ)」】 【発表：大東建託株式会社】

Discovery（発見） 菊川を知ってもらう 機会の増加

令和3年



LINE公式アカウント開設
公式Twitter（現X）開設

令和4年

情報発信力の強化、SNSの積極的活用



dボタン情報サービス開設

令和5年

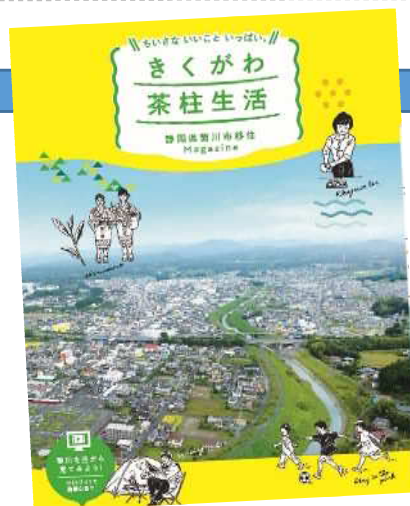


塚田農場×菊川市
SNSコラボキャンペーン

令和6年

R1→現在
SNS情報発信件数
約7倍
SNSフォロワー数
約5倍

菊川の魅力、菊川らしい取組を発信



移住促進パンフレット改定



菊川チャバチュー

ユニークで楽しく菊川らしい取組で、菊川の魅力を全国に発信！！

3年連続でNHKの
全国放送で放映
いただきました！

感謝とともに、未来への一歩
菊川市制20周年



市制20周年を記念して、さまざまな事業を実施
菊川市の魅力を市内外に発信しています!!



Exchange（交流） 菊川に 来てもらう 機会の増加

令和3年

令和4年

令和5年

令和6年

地域資源を活かした観光の推進



地域おこし協力隊に
大山智世さんを委嘱

火剣山キャンプ場
ロゴマーク決定



ふるさと納税寄附者を招き
HITSURUGI CAMP 開催



レンタサイクル事業開始
お得なクーポンも配布



火剣山キャンプ場
指定管理者制度導入

菊川市観光交流客数（R5：330,096人）
R2→R5 約1.7倍

市民主体の活動による交流促進



千框棚田や田んぼアート、まめまめマーケット、CUB DAY、パニガーレMTG、
プチHAWAII FES、outside Festival、菊川バル etc 市民主体の活動が活発に！

Exchange（交流）

自然とあそび、自然を愉しみに **来てもらおう！**

いつもと違う時間を！星に癒される火剣山キャンプ場

令和6年度から指定管理者制度を導入。民間ノウハウを活用したキャンプ場に！
予約サイト開設やWi-Fi環境・電源の整備。ソロキャンプに最適なフリーサイトも新設！



Engage（関係） 菊川と関わってもらおう 機会の増加

令和3年

令和4年

令和5年

令和6年

菊川に関わる人・企業を増やす取組推進



庁舎東館に多くの人が集い
新たな賑わいを創出

営業戦略アドバイザーに
鬼石真裕氏 委嘱



「きくがわ応援大使」募集開始

首長LIVEに登壇し、民間
企業に連携を呼びかけ



新たな繋がり創出に向け！



菊川市産業支援センター
「EnGAWA」を開設

連携を活かした菊川茶の販売促進・PR



人気YouTubeチャンネル
で「深蒸し菊川茶」をPR

若い世代に菊川茶を
知ってもらうための
新ブランド展開



地理的表示 (GI)
保護制度登録



佐川急便株式会社と海外
輸出戦略に関する協定締結

「キル フェ ボン」が
深蒸し菊川茶を使用
したタルトを販売



Engage (関係)

新たなつながりを 創出するため！

菊川市産業支援センター *En* EnGAWA

令和6年3月
菊川駅前に開設

新たに人が集まる賑わいスペースとして「菊川市産業支援センター EnGAWA」を開設しました。
カフェのような雰囲気、「人」と「ビジネス」の「縁」をつくる「コミュニティ空間」を目指しています。



カフェ併設型コワーキングスペース 兼 産業支援機能拠点



経営相談会



各種セミナー



イベント

Engage（関係）

つながる連携で 関わってもらおう！

ビジネスマッチングで新分野へ 『**深蒸し菊川茶**』 海外戦略！

佐川急便株式会社 と菊川茶の海外輸出戦略に関する連携協定を締結。

アリババ株式会社 が運営する世界規模のネット販売サイトを活用し

菊川茶を世界へ届ける 国内初の取り組みを始めました。



世界190以上の国や地域に会員のバイヤーがいるネット販売サイト内の『**菊川茶 専用ページ**』を通じて、海外バイヤーとの商談が可能に！

Settlement（定住） 菊川に住んでもらう 魅力の増加

令和3年

令和4年

令和5年

令和6年

安心して子育てできる環境の整備



新婚世帯に居住費等を支援し経済的負担を軽減



リフレッシュ・一時保育の受入体制を整備



待機児童解消と多様なニーズへの対応を図るため、幼保施設整備も推進

「こども医療費」無償化
子育て家庭の経済的負担軽減



「こども家庭センター」開設
切れ目なく子育てをサポート

充実した教育環境の整備



安心して快適な教育環境のため
学校施設の耐震化・整備

ICT教育の推進に向け
一人一台端末整備、GIGAスクールサポーター配置



菊川市小中一貫教育
「学びの庭」構想の推進

物価高騰への対応として
給食費の保護者負担軽減



Settlement (定住)

妊娠から出産・子育てまでライフステージに応じた相談・サポート

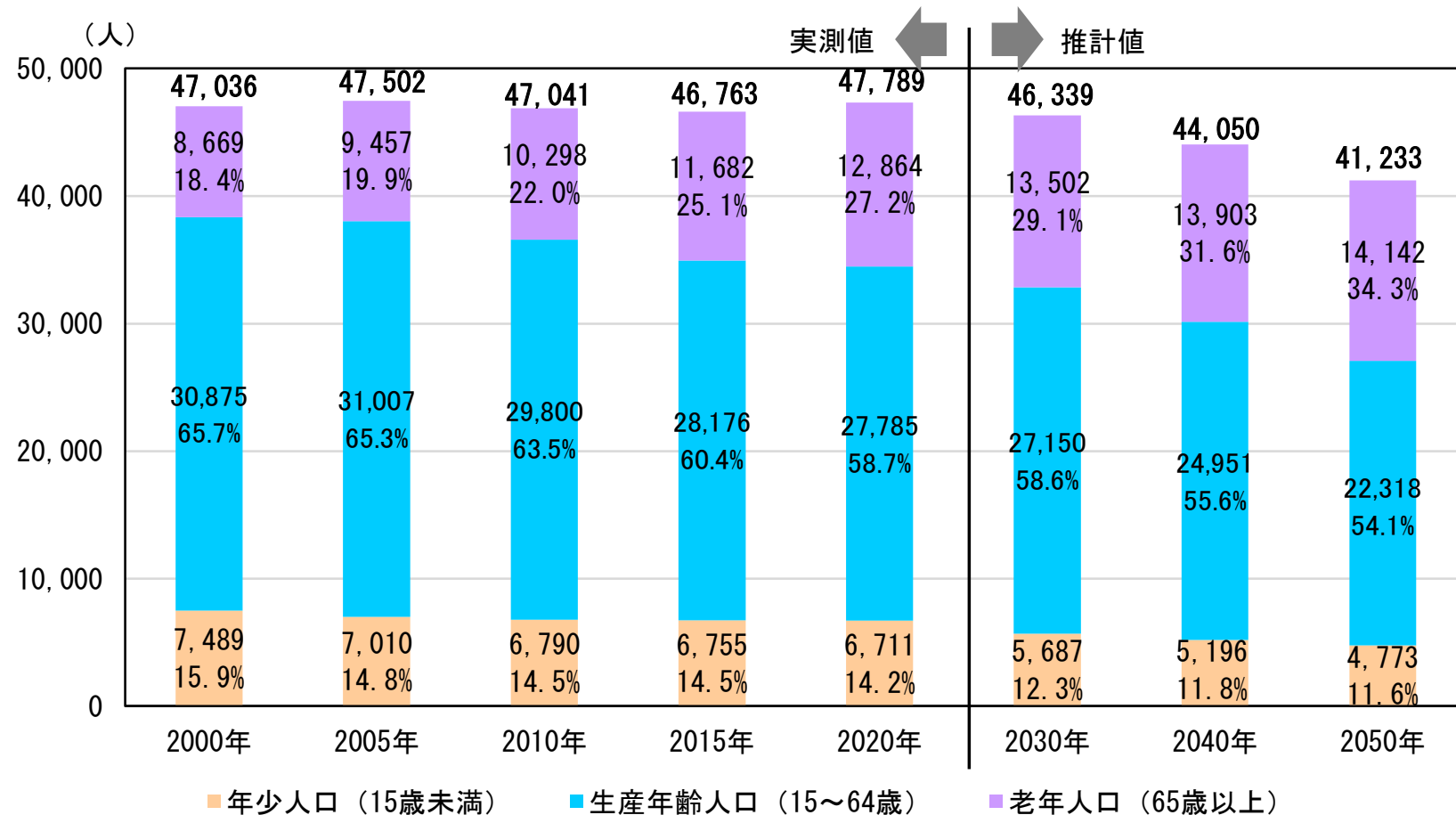
全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援！

妊娠期		出産		乳幼児期		18歳頃まで		
相談等	こども家庭センター（妊娠期、0歳～18歳まで） 総合相談・健康相談・発達相談（家庭訪問、電話相談、窓口相談、個別相談）							
	母子健康手帳交付		赤ちゃん訪問		乳幼児健診、親子教室		思春期健康教育	
	プレママ＆パパサロン				離乳食教室			
	新米パパ教室						▲こども家庭センターにキッズスペースを設けた個室の相談ルーム「きくすくルーム」を開設	
	妊婦訪問、面談							
手当・助成等	不妊・不育症治療費助成		出産応援ギフト		産後ケア事業			
	低所得妊婦初回受診料助成				保育料無償化（第3子以降）			
					副食費無償化（第3子以降）			
					きくすくブックプレゼント			
			ホームヘルプサービス費助成					
				こども医療費助成制度				
		児童手当						

少子高齢化に適応するため

年齢区分別にみると、2000年（平成12年）以降、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向である一方で、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあります。

少子高齢化に柔軟に**適応**していく持続的な地域づくり・取組を進めます。



※2020年以前は国勢調査数値（各年10月1日現在）、2025年以降は国立社会保障人口問題研究所推計値。

Adapt（適応） 「人生100年時代」に **適応**していくため！

「お達者年齢」 静岡県内35市町中 男性トップ！

昨年度まで公表されていた「お達者度」を含めると、男性は3年連続で1位。女性は15位（昨年23位）で順位を大幅に上げました。市民の皆さんが健康増進や介護予防に積極的に取り組んでいる成果の表れです！

健康寿命 を延ばすキーワードは **食事・運動・社会参加**

バランスの良い食事



バランスの良い食事は生活習慣病予防につながります。食に関心を持ち、望ましい食習慣を身につけることができるよう啓発を行っていきます。

適度な運動



適度な運動はストレス解消や免疫力を高めることができることから、運動への意欲関心を高めることや、運動を楽しむ環境整備を推進します。

地域活動への参加



地域活動に参加することで外出や交流の機会が生まれ、認知症や閉じこもり予防にもつながるため、参加の必要性について啓発を行っていきます。

Adapt（適応）暮らしの質を保ち 地域を支える 公共交通

コミュニティバス「公共ライドシェア」で地域交通を維持継続！

地域交通の担い手不足や乗合バスの減便、高齢者の運転免許証自主返納増加等によりライドシェアの必要性が高まっています。

市では「公共ライドシェア」の一つとしてコミュニティバスを運行。市民の皆さんの声をお聞きし、商業施設への乗り入れ等路線の再編、フリー乗降区間の拡大等を行っています。令和2年度からは、デマンド運行「コミタクくん」を開始しました。

R5コミュニティバス1日当たりの利用者数 **128.9人**（前年対比4.5人増）



◆10人乗りワゴン
7台(1路線1台)



◆タクシー車両
菊川タクシー(有)

Adapt（適応）減少する就学世代に適応する 学校の未来

少子化に伴う児童・生徒の現状を議論

首長部局と教育委員会部局が合同で、教育の課題やあるべき姿の意見交換を行う「総合教育会議」。今年度は、少子化に伴う児童・生徒数の現状や、今後の取組について意見交換しました。今後も、望ましい学校の未来について検討していきます。



少子化に向け、検討を進めていくこと

■ 菊川市のこれからの学校の在り方

「**学校の未来を考える会**」を設置し、学校や地域の実情、将来像を踏まえ、子どもの学びや人間形成を図っていくために有効な、未来の学校の在り方について検討しています。



■ 菊川市のこれからの部活動の在り方

児童・生徒・保護者のニーズや地域の実情（練習環境、指導者の確保等）を把握し、部活動の休日の地域移行をはじめ、今後の部活動の在り方について、菊川市にあった方向性を検討しています。

Adapt（適応）若年層の転出超過に対し 郷土愛 を育む

地域の元気は若者から！若者に選ばれるまちを目指して！

市では、若者が菊川に住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めるとともに、若者が地域の良さを認識し、地域づくりに主体的に参加するなど、郷土愛を育む機会づくりに取り組んでいます。



「わかもののまちサミット2023」を菊川市で開催！

【全国初】菊川市こども・わかもの参画宣言 発表！

Adapt（適応）増加する外国人住民に対し 多文化共生 推進

多様性を尊重し誰もが安心していきいき暮らせるまちへ！

「第4次菊川市多文化共生推進行動指針」に基づき、コミュニケーション支援、生活支援、多文化共生の地域づくり、推進体制の整備を行い、地域の担い手としての外国人との共生を進めていきます。



Adapt（適応）社会課題解決に向け スタートアップ支援

発掘 ビジネスコンテスト初開催

農業や環境などの地域資源を活用し、新たな事業を展開するスタートアップ企業を全国から呼び込むビジネスコンテストを初開催。



支援 コワーキングスペース利用

フリーアドレスのオフィススペース。4人掛けのテーブル席から一人で集中作業ができるブースを状況に応じて利用可能。法人登記も可能。



誘致 都会と菊川の2拠点生活

リモートワークの普及に伴い、仕事をする場所も住む場所も自由に。菊川に仕事の拠点を構え、心にゆとりを持った暮らしを！



市民の安全・安心のさらなる推進！

菊川市防災対策 強靱化事業

黒沢川流域の治水対策

26億1,900万円

豪雨による浸水被害が頻発する市南部地域の浸水対策として、黒沢川の県内2例目となる「**特定都市河川**」指定に向けた取組を推進。併せて、岳洋中学校の校庭を利用した校庭貯留施設の整備及び棚草川に隣接する農地へ貯留施設の整備を進めます。



■岳洋中学校貯留施設の整備



■棚草川隣接地へ貯留施設整備



市民の安全・安心のさらなる推進！

菊川市防災対策 強靱化事業

市役所敷地一帯の防災機能強化 24億4,500万円

災害対策本部棟及び堀之内体育館の実施設計や旧町部地区センターの解体・跡地整備、本庁舎の外壁改修工事を進め、市役所敷地一帯の防災機能の強靱化を図ります。



■『受援体制』の再確認、強化を推進！

能登半島地震への支援を行った教訓から、国や県、他市町、関係団体などからの支援を速やかに受け入れることのできる体制の強化が課題。全庁でスピード感を持って対応し、防災力の強化につなげていきます。

市民の安全・安心のさらなる推進！

国・県と連携した流域治水プロジェクトを推進！

菊川水系流域治水プロジェクトに基づき、国土交通省が河道掘削（川の中に堆積している土砂を取り除く工事）を実施。市では継続実施に向けた要望活動を行っています。



**約1.3メートルの
水位低減効果がありました！**

5.82m 河道掘削を行わなかった場合の水位

約1.3メートル

4.54m 河道掘削後の最高水位

河道掘削

※菊川5.4km付近
水位はいずれも
推定値です。

平成28年度以降、菊川本川及び支川牛湫川において約30万 m^3 の土砂を搬出しました。河川の流下能力が大幅に確保され、令和6年8月31日の台風第10号の時には、約1.3mの水位低減効果が見込まれました。

市民の安全・安心のさらなる推進！

災害時の緊急輸送路等として幹線道路整備

掛川浜岡線バイパス（赤土高橋工区）15億9,680万円



小笠地域市街地の南北交通の混雑解消と、緊急輸送道路として安全を確保するとともに、将来、掛川浜岡線のバイパスとしての役割を果たす道路の整備

都市計画道路 青葉通り嶺田線 （市道井矯堂線）25億円以上※

※土地・建物調査など未実施のため、見込額です。

小笠地域市街地を東西に結ぶ幹線道路の整備

大須賀金谷線 6億2,600万円

菊川地域東西の軸線となるアクセス道路整備



持続可能なまちづくりの推進！

JR菊川駅舎及び駅南北自由通路の整備



直接的
効果

- ・ 駅南北の利便性向上
- ・ 移動円滑化
- ・ 駅周辺魅力向上

効果が

“まち”

全体に波及

まち全体
への効果

- ・ 人口増加
- ・ 消費拡大
- ・ 税収増

◆これまで以上に愛される駅へ！

●KIFUGAWA PROJECT



生まれ変わる菊川駅に対する、温かいご支援を募集！

●駅前広場でのウォールペイント



常葉大菊川高の生徒の企画により実現！

●JR臨時快速

「20th夢乗せる菊川」号



菊川市制20周年の記念と菊川茶のGI登録1周年に合わせて運行！

持続可能なまちづくりの推進！

駅南北をつなぎ、まちをつなぎ、人の“わ”を広げる



持続可能なまちづくりの推進！

大切な資源を守り、豊かな環境を！



リニア中央新幹線工事について、菊川市が国や県、JRに伝えてきたこと

- ★大井川の水は水道水の97%、農業、工業にも利用されている。
現在の水量と水質が恒久的に確保される必要がある。
- ★リニア工事で水資源に影響があった場合の補償について、国の積極的な関与をお願いしたい。また、関与することを合意書等で明確化する必要がある。

持続可能なまちづくりの推進！

脱炭素社会の実現に向けて

「ゼロカーボンシティ宣言」

令和5年2月、菊川市は2050年までに市域の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」に市民、事業者と一体となって取り組むことを宣言しました。

【脱炭素社会の構築に向けた主な取組】

● 補助制度



- ・ 省エネ家電製品購入補助金
- ・ 自然エネルギー利用促進補助金
- ・ 生ごみ処理機器購入事業費補助金

● 環境教育



- ・ 環境出前講座「きくがわ★みらくりん」
- ・ アースキッズ
- ・ グリーンカーテン



● 企業連携



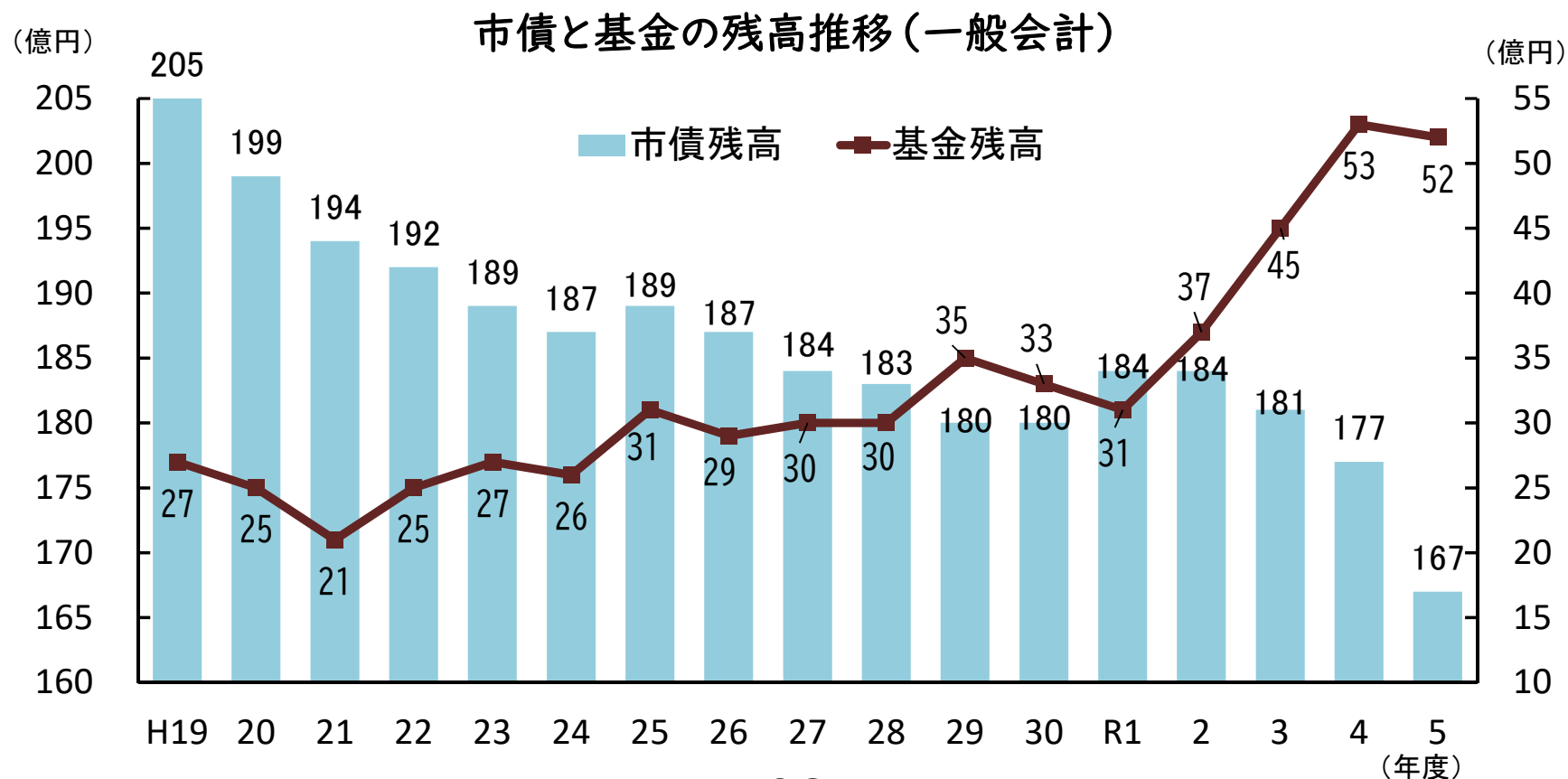
- ・ ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定（鈴与商事(株)）
- ・ ZEB化推進（佐野ホールディングス(株)・大和ハウス工業(株)）

「ゼロカーボンシティ実現」のキーマンは市民の皆さん、環境に配慮した生活を！

積極投資のための財源確保！

計画的な財政運営

「返す額より多く借りない」を基本に計画的に借入を行い事業を進めています。
市債（借金）残高はH19年度から令和5年度までの16年間で38億円（▲18.5%）減額。基金（貯金）は25億円増額しました。



積極投資のための財源確保！

民間活力の導入と新たな発想による財源確保！

公民連携の考え方から、民間事業者のノウハウやアイデアを最大限に引き出していくとともに、「市として実施したいこと」や「問題解決」に対応するため、実施事業をプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方々から寄附を募る取組『クラウドファンディング』等を積極的に実施していきます。



KIFUGAWA PROJECT 菊川駅南北自由通路寄附金（R5.4月～R6.9月）



寄附制度	対象	件数	寄附金額（円）
一般寄附	個人・法人・グループ	51	14,201,100
企業版ふるさと納税	法人	14	33,610,000
クラウドファンディング・ふるさと納税	個人	183	5,409,000
合計		248	53,220,100

積極投資のための財源確保！

ふるさと納税 菊川の魅力がギュッと詰まった返礼品を品揃え！



**納税額倍増を
目指します！**

**菊川を
応援！**

企業版ふるさと納税

寄付額 68,646,040円 (令和3～令和6年度累計)

※菊川駅南北自由通路寄附金含む



(株)南山堂様からは令和4年度から3年連続で計3,000万円の寄附をいただいています。

企業の皆様からいただいた寄附は、健康づくりや農業振興、駅整備など、様々な事業に活用させていただいています。



その他寄附金

地域の公民館建設、地元の小学校への寄附等、温かい支援がまちづくりに活かされています。

行政運営の方針！

1. 経営感覚を大事にする

2. 大切な“税”を無駄にしない

3. 前例踏襲や市役所の常識にとらわれない

4. 巧遅より拙速（60点でよい とにかく進める）

5. 行政資源（ヒト・モノ・情報等）を活かす





このまちの歴史を受け継ぎ
さらに住みよいまち“菊川”へ